

2023年4月28日

各位

会社名 アビックス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 廣田 武仁  
 (コード番号：7836)  
 問合せ先 取締役副社長 桐原 威憲  
 (TEL. 045-670-7720)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期通期連結会計期間(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	2,800	20	16	10	0.28
今回修正予想(B)	3,325	14	9	△8	△0.26
増減額(B-A)	525	△6	△7	△18	—
増減率(%)	18.8	△30.0	△43.8	—	—
前期実績	1,797	△56	△63	△73	△2.49

## (2) 修正の理由

当社は、2021年11月1日付で株式会社プロテラスのデジタルサイネージ事業（一部除く）の吸収分割を完了いたしました。前期期中での吸収分割であったこともあり、当期につきましては、通常通して吸収分割の影響を受ける初めての期となり、シナジー効果や、それに伴うコスト増など、想定と異なる見込みとなりましたので、業績予想の修正をするものです。

売上高につきましては、当該吸収分割により、営業人員も増加し、各業界へのアプローチ強化やソリューションの価値向上の取組を開始したことから、前回の予想値と比し118.8%と、予想を上回る見込みとなりました。

一方、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、案件数が想定以上に増加したことに伴う外注費の増加等により、販管費が予想を上回ったことに加え、円安の影響による仕入れ価格の上昇や、マーケットにおける価格競争の影響による利益率の低下等により、業績予想を下回る見込みとなりました。

当社といたしましては、固定費も含めたコストの削減や、品質を維持した原価の引き下げに取り組む一方、引き続き主力業界の一つとして取り組んでいるスタジアムやアリーナといったスポーツ施設や商業施設などの大型案件を積極的に展開していくことに加え、件数が増大することで収益性も高まっていくサブスクリプション事業が当社の軸となるよう、承継した事業を中心に拡大展開を図り、新たなサブスクリプションモデルのソリューションを追加開発、展開していくことで、デジタルサイネージ業界 No.1 を実現するべく邁進してまいります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上